

2023 年度 ニチイキッズきのかわ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 4 日（木）～30 日（金）
	実施方法	自己評価について園内研修を行い、一人ひとり意見を出し合った。
保育施設の評価	評価日	2024年2月17日（土）
	実施方法	職員全員で今年度の保育を振り返り、課題を見つけた。

項目ごとの評価	
保育理念	ニチイの保育理念を基盤とし、保育士や友だちとの関わりの中で五感を意識しおもいっきり遊びの展開ができるよう実施した。一人ひとりの発達を理解した上で、子どものやってみたい気持ちから子どもたちの興味が広がるよう遊びの時間や環境を工夫するよう心掛けた。
子どもの発達援助	子どもたちの発達状況を確認し合い、一人ひとりにあった関わりを実施した。また、子どもたちの姿を見通しわかりやすいように物事を進め達成感を得られるよう見守り、必要に応じて援助を行う事に努めた。
保護者に対する支援	保護者の気持ちに寄り添いながら丁寧な対応をする事により安心安全に繋がられるよう努めた。また、発達や体調、情緒の変化も密に共有し合い健康管理に努めた。細かい成長にも気づき共に喜び合う事ができた。
保育を支える組織的基盤	職員主体の計画をする事で、それぞれの得意分野または苦手分野が明確化した。それにより、お互い協力しあう事ができ、スキルアップを図ることができた。会議・MTG では個々の意見を寄せあい課題にむけて進む事ができた。特に、子どもたちの興味を掘り起こし保育活動に繋げる事ができた。今後も保育士が主体的に自己評価に取り組み更なる保育の充実を図っていきたい。

総評
保育理念である子どもたちの「おもいっきり」について何度も話し合い、子ども理解を深め保育計画を立案できるようにした。一人ひとりの最善の利益を考え、個々にあった関わりを充実化した。発達段階を密に共有することで子どもの要求を明確に理解することに意識をむけた。『明日も行きたい』と思える 1 日にするために保護者の背景も理解し、心を配り一人ひとりを十分に理解した保育に努めた。結果、子どもだけでなく保護者の悩み、伝えたい事が理解しやすくなり、子どもの心情面の成長発達を深く考える事ができた。次年度にむけ更に子どもの最善を考え保護者に深く寄り添っていきたい。